

大和川の水環境改善の取り組みについて

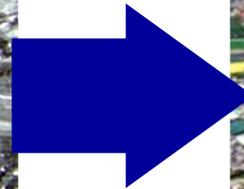
平成27年 1月26日

国土交通省大和川河川事務所



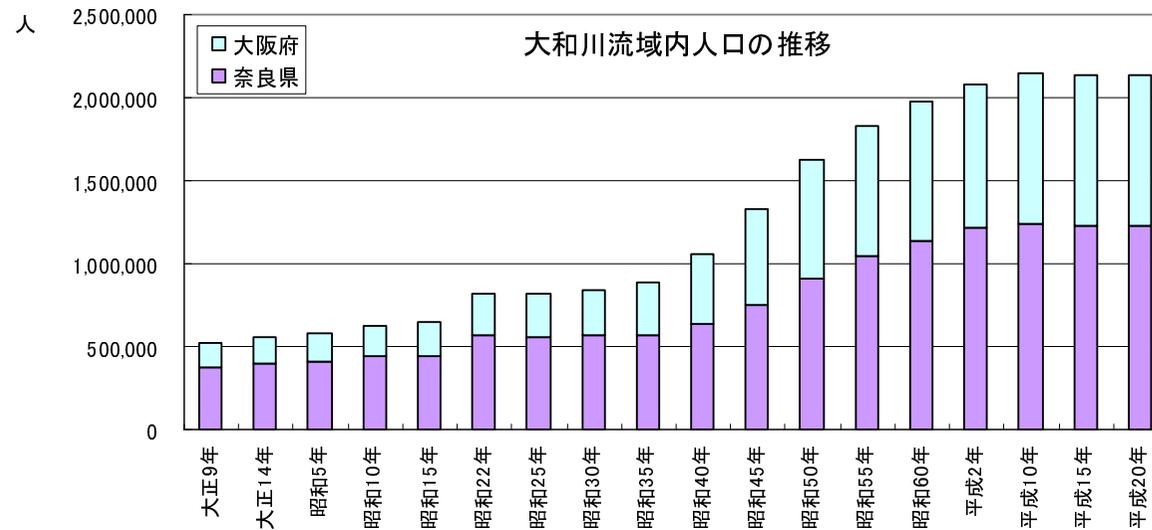
昭和30年頃 柏原堰堤（提供：柏原市）

大和川流域内人口の推移



昭和30年代 柏原市付近

現在 柏原市付近



大和川流域内人口の推移



いまいどがわ
平成3年 今井戸川合流部(7.6k左岸)

平成元年 大和川水系水質改善対策事業促進連絡会 設立

平成5年 大和川清流ルネッサンス協議会 設立

平成6年 水環境改善緊急行動計画
(大和川清流ルネッサンス 2 1) 策定

平成14年 第二期水環境改善緊急行動計画
(大和川清流ルネッサンスⅡ) 策定

平成17年 大和川水環境協議会 設立 ← 大和川水環境サミット

平成18年 Cプロジェクト計画 2006 策定

平成24年 大和川水環境改善計画策定 (H23~H27)

(1) 発生源対策

(2) 汚濁負荷削減対策

(3) 啓発

■アクリルタワシ製作講座



講師：奈良県地域婦人団体
連絡協議会会長 中島先生

平成25年度は7回開催
(平成26年度は1回開催)

■大和川水質改善強化月間

2月は「大和川の水質改善強化月間」

アユが跳ね、 子どもの笑顔が あふれる大和川へ

「何が
探れた??」

「ガサガサ〜
鼻むらに
隠れてんねん」

毎年、地元の小学生と行っている大和川の生き物調査。確認される種類も増え、子どもたちは大和川に多くの生き物がいることに驚き、感動し、歓声を上げて参加してくれます。大和川の水質はここ数年大きく改善され、下流ではアユの遡上と産卵も確認され、平成22年は全国一級河川でワースト4まで下がり3年連続で観測史上最もきれいな水質記録を更新しました。しかし、依然水質改善が必要な箇所もあり、さらなる取り組みが必要です。大和川の汚れの主な原因は、家庭から流れる「生活排水」。また大和川は年間の雨の量が少なく、冬場は特に水質が悪化します。そのため2月を「水質改善強化月間」として流域全体で汚れを減らすための取り組みを呼びかけています。今年の夏も、子どもたちの笑顔が輝く大和川にしませんか。家庭でもできる「生活排水対策」にご協力下さい。

大和川の水生生物調査は、大阪・奈良合わせて毎月100人以上の子どもたちが参加しています。

（大阪：柏原市）

（奈良：王寺町）

■大和川の汚れの原因
「生活排水」とは台所やお風呂、洗濯等私たちが家庭で使った水のことです。

汚染源	割合
自然から出る汚れ	3.1%
畜産から出る汚れ	8.7%
工場などから出る汚れ	11.0%
家から出る汚れ（生活排水）	77.2%*

大和川の汚れの原因の約8割は「生活排水」

*下水処理水を含む
(平成20年度データ)

残さない

- ① 食事は食べる分量だけ作り、残らないようにする!



ワンポイント!

残ってしまっても、次の日に活用できるように冷蔵庫で保存!

ふき取る

- ② 食器やフライパンなどの汚れは拭き取ってから洗いましょう!



ワンポイント!

古箸などをカットして使えばムダなゴミも出ません!
洗剤のいらぬアクリルタワシも効果的!

流さない

- ③ 食べ残しや残りクズを、直接流さないようにする!



ワンポイント!

三角コーナーや水切りネットを上手に活用しましょう!

■大和川博士講座



イオンモール橿原

平成25年度は11回開催
(平成26年度は7回開催)

■水生生物調査



水生生物調査(河内橋地点)

平成25年度は6回開催
(平成26年度は7回開催)

■大和川流域一斉清掃

- ・平成20年度には、「大和川流域一斉清掃」として流域全体の清掃活動が始まり、毎年多くの住民が参加している。
- ・平成24年度から、身近な水辺ごみモニタリングを実施。



大和川一斉清掃(奈良県域)

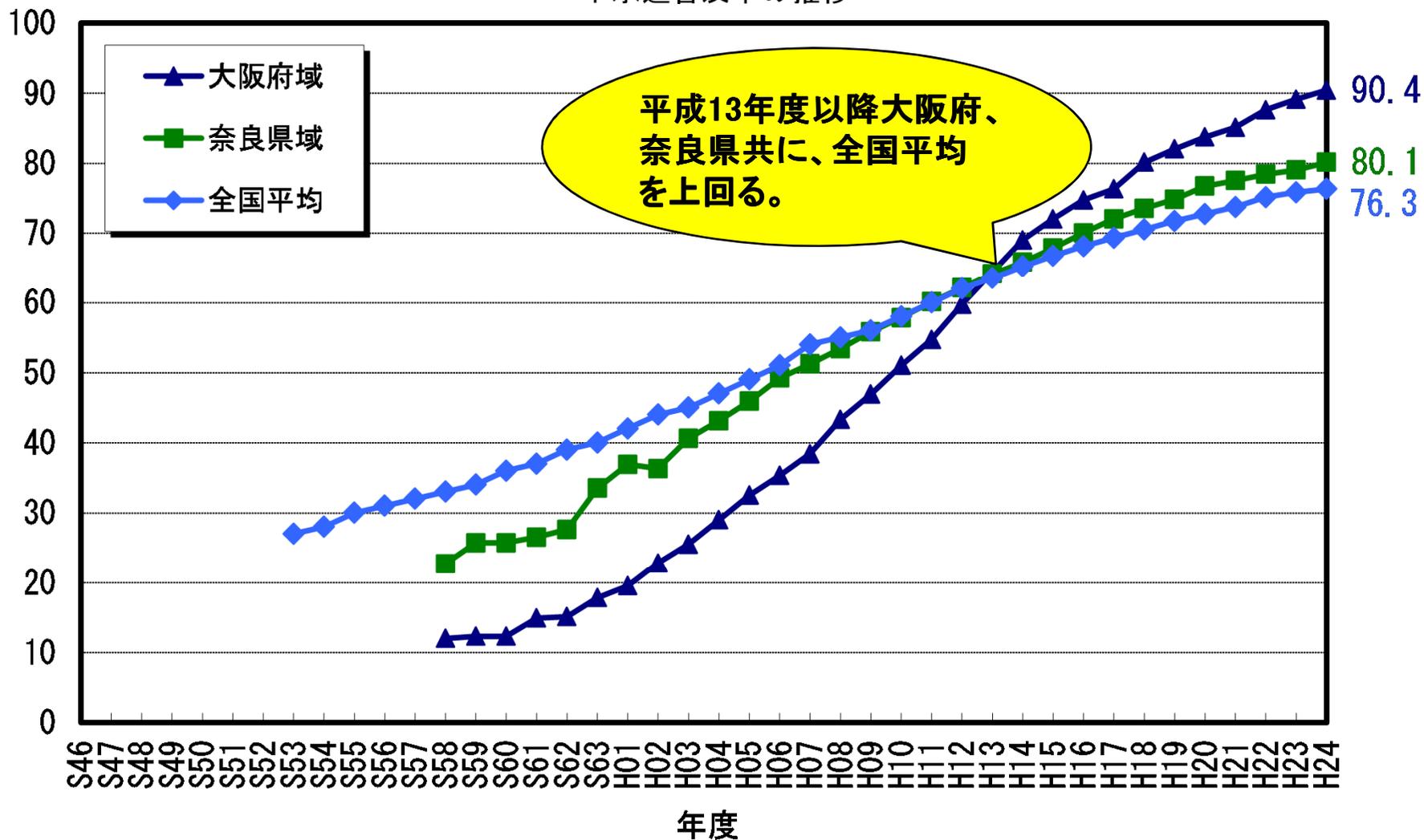


大和川・石川クリーン作戦(大阪府域)

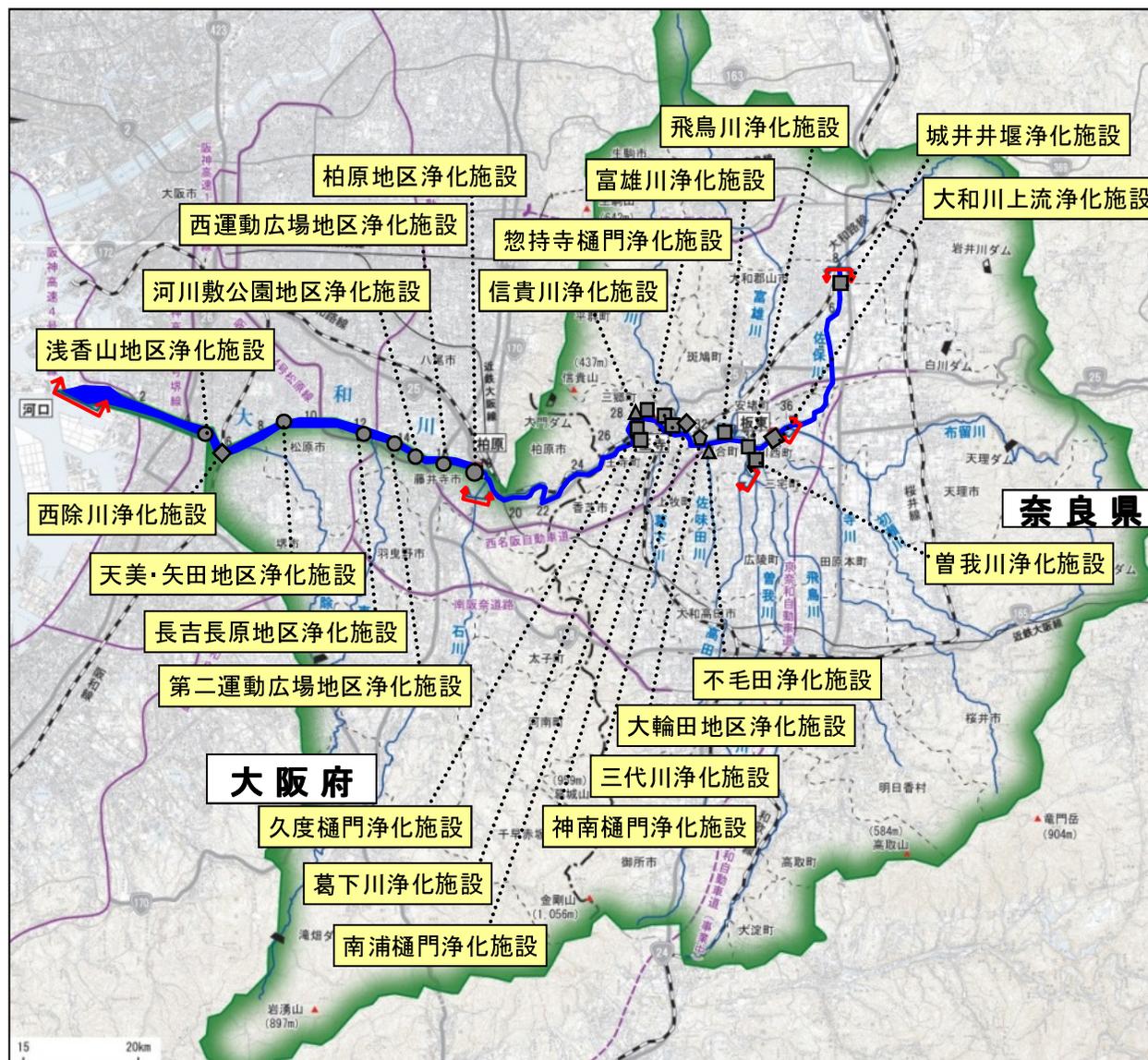
■下水道整備

普及率(%)

下水道普及率の推移

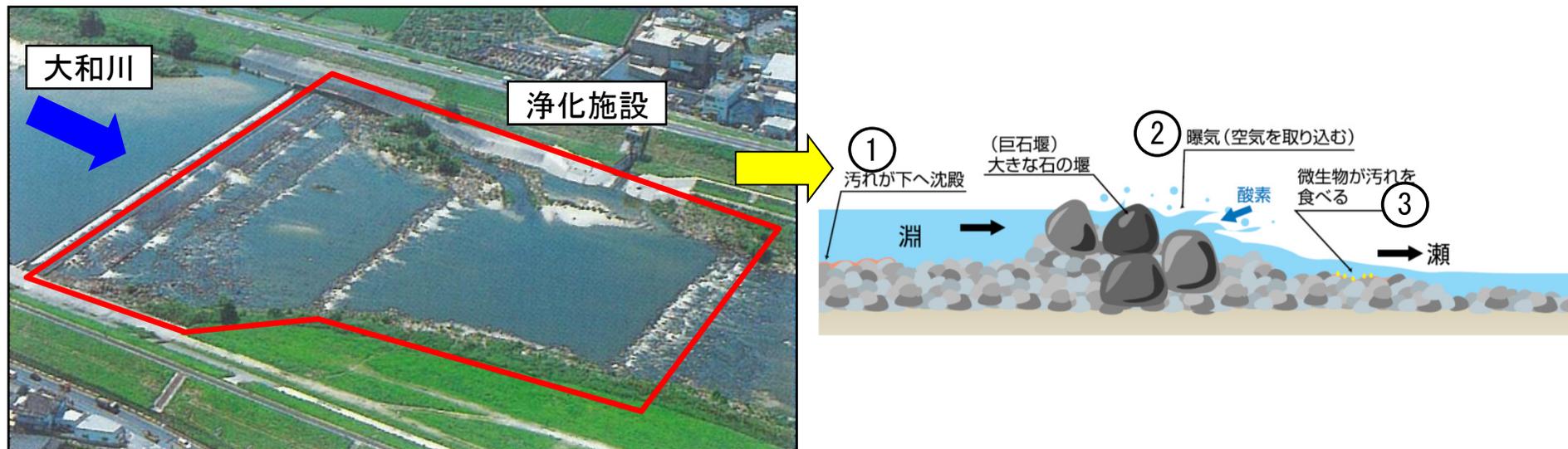


■河川浄化施設の整備(22箇所)



22箇所の河川浄化施設を整備

■瀬と淵浄化方式



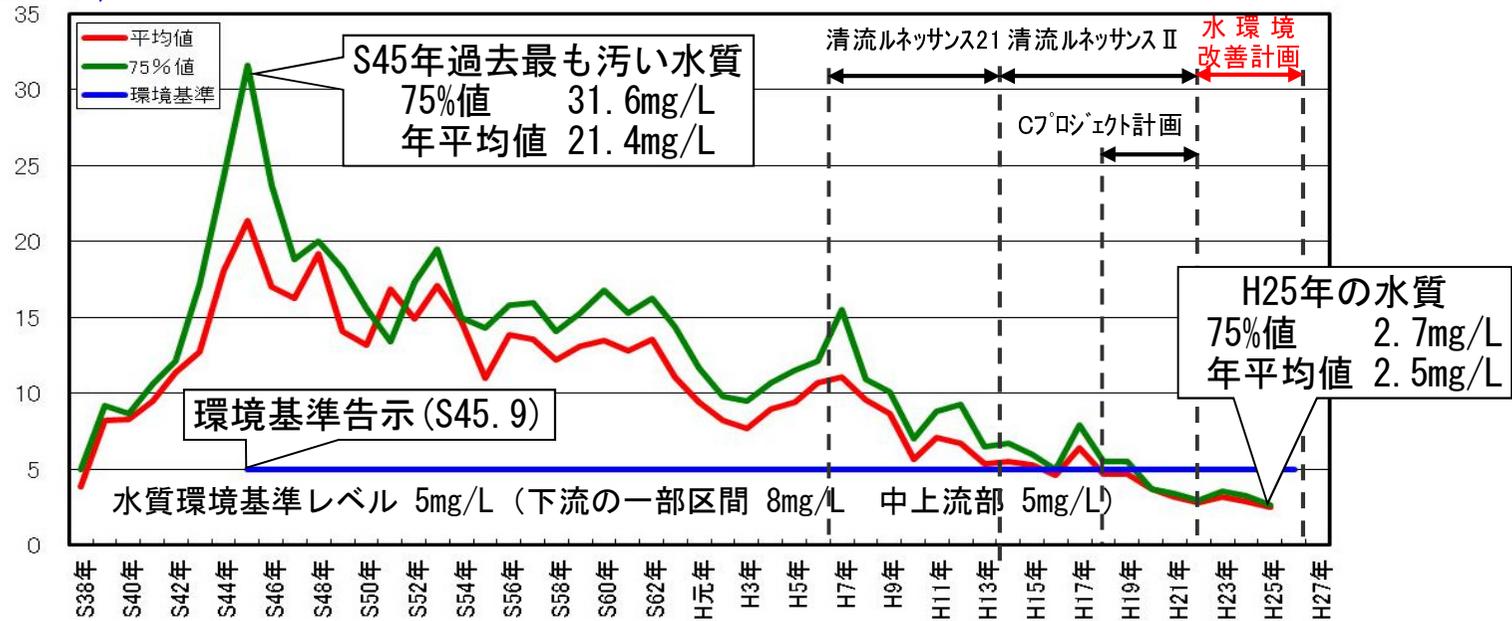
川が本来もっている「自浄作用」を増進して浄化

- ①堰や水制工などを配することにより、水の流れを緩くする「淵」を作り、水中の汚濁物質を沈殿させ、微生物による分解を図る。
- ②巨石による落差や水流の変化などで空気(特に酸素)を水の中により多く取り込める形を作る。このことから、水中や川底の微生物の働きが活性化。
- ③「瀬」では、水の流れが速いため礫と接触する際、酸素の供給が促進される。

特徴

⇒ ・「瀬」や「淵」などの変化のある環境は新たな生息場所を生み出し、周辺と調和を図ったデザインで大和川下流の親水空間を創出している。

■水質の変化(BOD)



大和川本川のBOD経年変化(本川8地点の平均値)

⇒ 平成20年以降、水質環境基準の5mg/Lを下回るまで改善

順位	地方名/地点名 (水系名/河川名)	平成15年BOD年間 平均値(mg/L)	平成25年BOD年間 平均値(mg/L)	水質改善幅 (mg/L)
1	近畿/太子橋(大和川水系大和川)	7.8	3.6	4.2
2	関東/亀の子橋(鶴見川水系鶴見川)	7.5	3.7	3.8
3	近畿/遠里小野橋(大和川水系大和川)	5.5	1.9	3.6
4	関東/秋山川末流(利根川水系秋山川)	4.9	1.7	3.2
5	近畿/浅香新取水口(大和川水系大和川)	4.7	1.6	3.1
5	四国/市坪(重信川水系石手川)	4.7	1.6	3.1

全国過去10年間のBOD改善状況(観測地点別)

⇒ 全国のトップ5に大和川の3地点が入るほどの改善

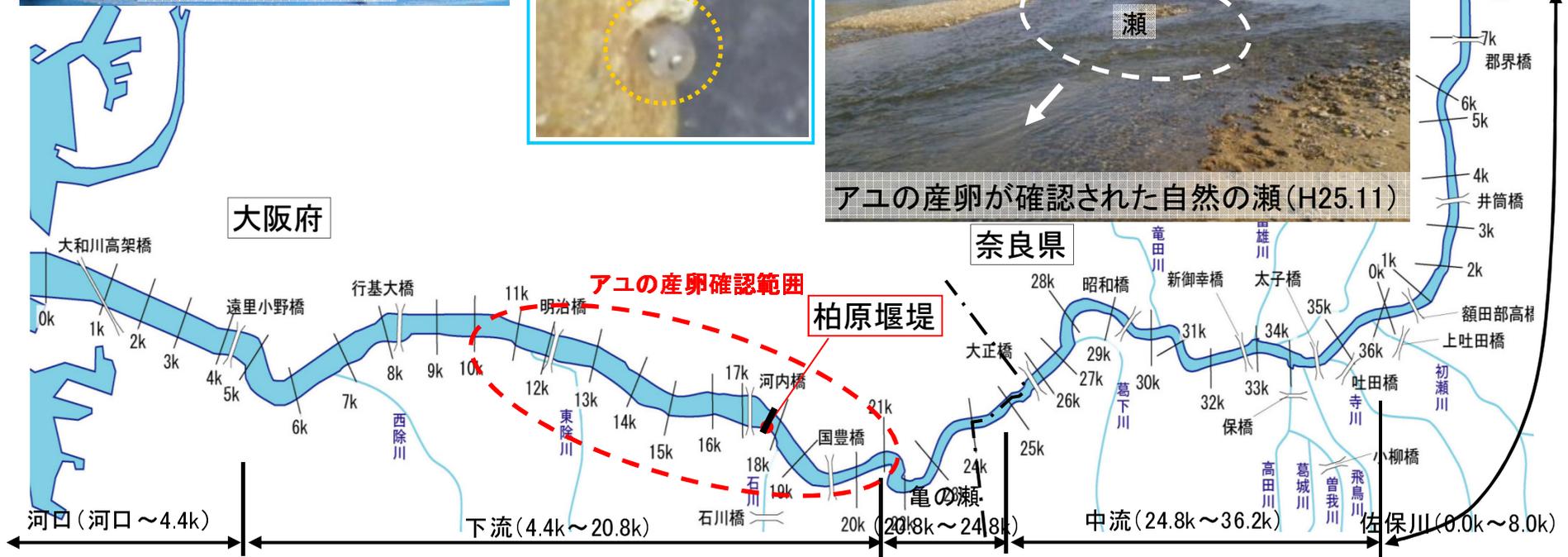
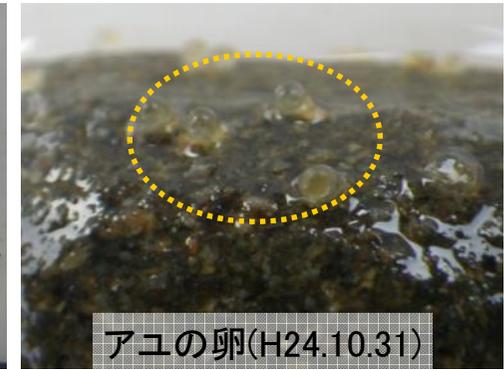
大和川の水環境改善の効果

■水質の変化(BOD)



大和川の水環境改善の効果

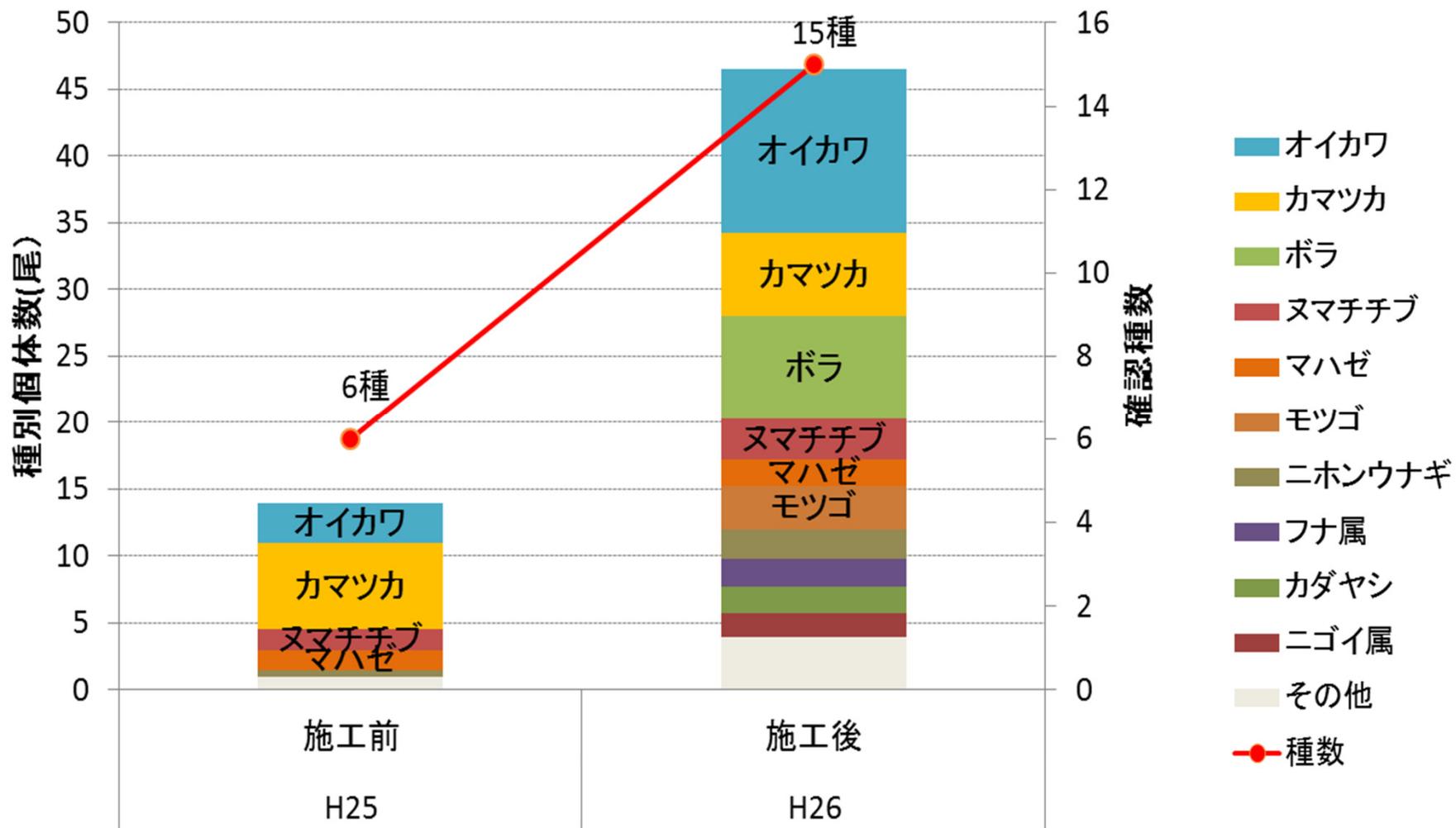
■アユを確認



⇒ 平成17年以降、天然アユの遡上が毎年続いており、近年ではアユの卵も確認されている。

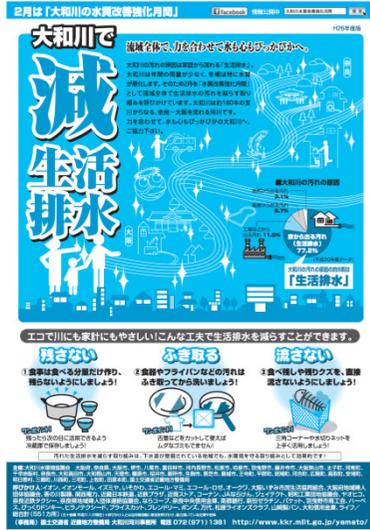
■整備効果

瓜破地区(大和川の河口から10k地点)

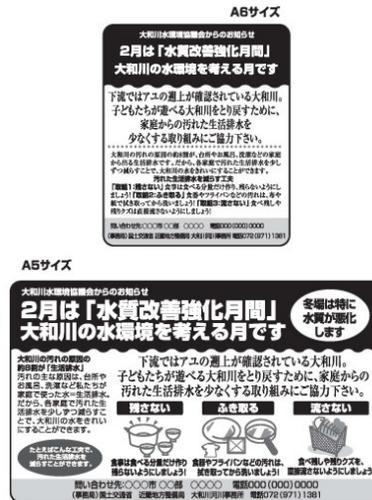


■広報ツール

・チラシ・ポスター
※1月末までに提供



・自治体広報誌
※ご連絡頂ければ当方で自治体名等記入し、データをお送りします



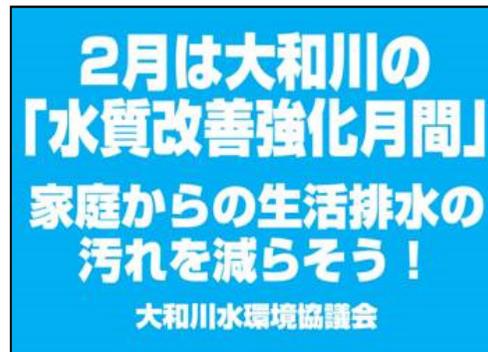
・事務所ウェブサイト
※1月下旬～配信予定



・Face book
※水質改善強化月間用画面で展開



・車用マグネット
(H22・23年度/4枚配布)



・のぼり&ポール
(H22・23年度10本配布)



